

Graduate School of Law

2027 年度

青山学院大学

大 学 院 学 生 募 集 要 項

法学研究科

私法専攻

博士前期課程

公法専攻

博士前期課程

一般入試（秋）

一般入試（春）

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人ともに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、
①出願受付、②入学試験業務、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

《博士前期・修士課程》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

《法学研究科》

＜私法専攻 博士前期課程＞

①知識・技能

「法学」の基礎知識を大学卒業相当のレベルで十分に備えている。

②思考力・判断力・表現力

「特定の私法分野」に関する確かな視座を持ち、研究を推進することができる。

③意欲・関心・態度

「研究計画の具体性」「志望動機の明確性」「希望専攻分野についての研究遂行能力」がある。

＜公法専攻 博士前期課程＞

①知識・技能

「法学」または「政治学」の基礎知識を大学卒業相当のレベルで十分に備えている。

②思考力・判断力・表現力

「特定の公法・政治学分野」に関する確かな視座を持ち、研究を推進することができる。

③意欲・関心・態度

「研究計画の具体性」「志望動機の明確性」「希望専攻分野についての研究遂行能力」がある。

合否判定の方法及び基準

『アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。』

- 法学研究科および各専攻の教育研究上の目的、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）は、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_law/

役 職 員 (2026 年 7 月現在)

学	長	稲積 宏誠
---	---	-------

法 学 研 究 科 長	細川 良
-------------	------

私 法 専 攻 主 任	山下 典孝
公 法 専 攻 主 任	高佐 智美

学 位

本研究科私法専攻・公法専攻 博士前期課程において授与する学位は以下のとおりとします。

私 法 専 攻	博士前期課程	修士 (法学)
公 法 専 攻	博士前期課程	修士 (法学)

募 集 人 員

私 法 専 攻	博士前期課程	10 名
公 法 専 攻	博士前期課程	10 名

出 願 資 格

下記のいずれかに該当する者。

1. 日本の大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込みの者
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
4. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2027年3月修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者
7. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達したもの

注意：上記7により出願を希望する者は、各研究科で個別の入学資格審査を受ける必要があります。ついては、法学研究科においては、巻末「2027年度 青山学院大学大学院 法学研究科 個別入学資格審査申込票」に必要事項を記入し、以下指定の期日までに学務部教務課 法学研究科担当に郵送にてお送りください。

一般入試（秋） 2026年 7月 30日（木） 必着

一般入試（春） 2026年 11月 18日（水） 必着

審 査 方 法

審査は第1次審査および第2次審査の二段階で行われます。第2次審査は、第1次審査合格者に対してのみ実施されます。

第1次審査 筆記試験（2科目）

第2次審査 面接

なお、筆記試験（2科目）は、筆記試験選択科目で詳細をよく確認のうえ、科目を選択してください。

筆 記 試 験 選 択 科 目

論 文

憲法、行政法、刑法、国際刑事法、政治学、日本政治思想史、税法、民法、知的財産法、商法、民事手続法、労働法、社会保障法、国際関係論、法の人類学、行政学、国際私法、国際法、法哲学
国際人権法

外 国 語

英語、ドイツ語、フランス語

《注意事項》

- ① 選択する2科目の中には、入学後専攻しようとする分野の論文を含めなければならない。
ただし、該当する分野がない場合には、それと密接に関連する分野の論文を選択すること。
- ② もう1科目は、論文または外国語より選択すること。
- ③ 研究指導を行える教員は10ページの研究指導教員一覧に記載のとおりである。
ただし、以下の一覧に記載されている教員は「指定科目」を選択する必要があるので注意すること。

私法専攻

研究指導教員	指定科目
伊藤 敬也	外国語
大山 和寿	外国語
岡田 直己	英語
熊谷 士郎	外国語
浜辺 陽一郎	英語
平嶋 竜太	英語
松本 英実	外国語
藪口 康夫	英語
酒巻 修也	外国語
山元 一	英語
竹村 壮太郎	外国語
大島 梨沙	英語またはフランス語(研究志望者のみ)
細川 良	外国語(研究者志望者のみ)
山下 典孝	英語またはフランス語(研究者志望者のみ)
増田 友樹	英語(研究者志望者のみ)
楊 林凱	外国語(研究者志望者のみ)

公法専攻

研究指導教員	指定科目
安藤 泰子	英語
岡上 雅美	外国語
申 恵丰	英語
住吉 雅美	英語
大道寺 隆也	英語
高佐 智美	英語
森 裕亮	英語
山元 一	英語
天田 悠	英語またはドイツ語(研究志望者のみ)
森本 麻衣子	英語
山辺 春彦	英語
COOP, Stephanie L.	英語
大石 泰彦	英語(研究者志望者のみ)
府川 繭子	外国語(研究者志望者のみ)

- ④ 選択した科目名は、志願票の所定欄に明記すること。
- ⑤ 選択した科目の出願後の変更は認めない。
- ⑥ 論文においては、本大学院で用意する司法試験用六法に限り、使用することができる。
- ⑦ 外国語を選択する場合には、各自で用意の上、紙媒体の辞書（英和辞書、独和辞書、仏和辞書）のみ使用することができる。

出 願 書 類

1. 入学志願票（本学所定用紙）
2. 写真票・宛名ラベル用紙（本学所定用紙）
 - *必要事項を記入のうえ写真票・宛名ラベル用紙をそれぞれ切り取り線で切り離して提出してください。
 - *宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願研究科・専攻を明記してください。
 - *受験票および合格者受験番号一覧等送付時、この宛名ラベル用紙を使用して郵送します。
3. 出身大学の卒業（見込）証明書および成績証明書
 - *証明書原本を提出してください（コピー不可）。
 - *出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書および成績証明書も提出してください。
 - *大学院修了（見込）者、博士（後期）課程をいわゆる単位取得済退学した者は、修了（見込）証明書または単位取得済退学証明書および成績証明書も提出してください。
 - *本学の証明書は学務部教務課で代理発行するため、提出不要です。
 - *改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として、確認できませんので、氏名変更（改姓等）の事実が確認できる証明書（戸籍抄本等）を必ず提出してください。
 - *証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。なお、英文の証明書は、外国の大学のみとします。
4. 外国籍者は、以下の書類を提出してください。
外国籍者は①「在留資格」「在留期間等」「在留期間等の満了の日」「在留カード等の番号」が記載された住民票、②パスポート（氏名、国籍、旅券番号を確認できるページ）のコピー及び③在留カード（表裏）のコピー（『「在留カード」コピー貼付用紙』に貼付すること）を提出してください。
5. 大学卒業（見込み）以外の者で、大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者（見込みを含む）は、以下の証明書を提出してください。
 - ・出身校の修了（見込）証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書
 - また、個別の入学資格審査に合格し、出願資格8を満たす者は、以下の証明書を提出してください。
 - ・最終学歴（短期大学や専門学校）の卒業証明書、成績証明書
6. 入学検定料収納証明書
コンビニエンスストアまたはクレジットカードをご利用ください
支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。
金融機関（銀行・ゆうちょ銀行等）からの振り込みは、できませんので注意してください。

入 学 検 定 料

35,000 円

入学検定料支払方法

コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの支払い

11 ページ「コンビニエンスストアでの検定料支払い方法」、12 ページ「クレジットカードでの検定料支払い方法」を参照のうえ、お支払いください。

※出願受付後、入学検定料は返還しません。振り込みをしたものの、出願しなかった場合は、学務部教務課 法学研究科担当まで問い合わせのうえ、返金の手続きをしてください。

出 願 手 続

入試種別	願書受付期間（受付最終日消印有効）
一般（秋）	9月10日（木） ～ 9月15日（火）
一般（春）	1月 4日（月） ～ 1月 8日（金）

年末年始期間（2026 年 12 月 23 日 ～ 2027 年 1 月 7 日）は、出願に関する各種お問い合わせについては対応できませんので、ご注意ください。

《注意事項》

1. 出願は**すべて郵送受付**とします。
出願の際は、出願書類および入学検定料の収納証明書・振込通知書等を封筒に入れ、本学所定の出願用封筒表紙を封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
受付事務・郵便事情等により受験票の発送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課 法学研究科担当に問い合わせてください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
5. 授業料後払い制度の利用を希望する方（外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外）は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを取ってください。手続きの詳細は、13 ページ掲載の申請要項の URL もしくは QR コードを参照ください。

入 学 試 験

入試種別	試験・面接日	試験・面接時間	
一般(秋)	第1次 10月17日(土)	論文・外国語 または 論文2科目	筆記試験 13:00～15:30
	第2次 11月 7日(土)	面接	集合時間を 通知します
一般(春)	第1次 1月23日(土)	論文・外国語 または 論文2科目	筆記試験 10:00～12:30
	第2次 2月13日(土)	面接	集合時間を 通知します

《注意事項》

1. 試験はすべて青山キャンパスで実施します。試験場等については、別途通知します。
2. 筆記試験の場合は、試験開始 10 分前までに試験場に、面接の場合は、集合時間までに受験生控室に入室してください。
3. **試験開始（面接の場合は集合時間）から20分以上遅刻した者は、受験することができません。**
4. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課 法学研究科担当へ連絡(試験当日は来室)してください。

筆記試験についての注意事項

1. 試験場では受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
2. 出願した専攻ごとに課されたすべての試験科目を受験してください。1科目でも欠席した場合は棄権とみなします。また、筆記試験を受験していない者は、面接を受験することはできません。
3. 辞書の使用が許可されている試験科目については、一般的な辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書および用語辞典等の使用は認めません。辞書の使用を認める記載がない試験については、一切辞書を使用することができません。

合 格 発 表

入試種別	合格発表日
一般（秋）	第1次 10月23日（金）
	第2次 11月13日（金）
一般（春）	第1次 1月29日（金）
	第2次 2月19日（金）

《注意事項》

1. 合格発表（第1次審査合格発表および第2次審査合格発表）は、合格者受験番号一覧を大学ウェブサイトの「大学院入学試験等に関するお知らせ」に掲載し、別途、合格者のみ速達郵便にて郵送します（郵便が届くのは合格発表日の翌日以降となります）。
2. 第2次審査合格者には、合格者受験番号一覧とともに入学手続書類を郵送します。

入 学 手 続

入学手続はすべて郵送となります。

2027 年 3 月 1 日（月）消印有効

入学手続の詳細は、合格者に郵送する入学手続要項を参照してください。

1. 合格者には、入学手続に関する書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日まで
に手続を完了してください（締切日の消印有効）。
2. 所定の入学手続納入金を納め、必要な書類を提出してください。入学手続が完了しない場合、合格
は無効となりますのでご注意ください。
なお、入学手続納入金については、13ページの「学費等」を参照してください。
3. 入学手続に際しては入学手続納入金の他に以下のものが必要になります。詳細は入学手続要項を参
照してください。
 - 住民票（外国籍者は①②を提出してください）
 - ① 住民票（「在留資格」「在留期間等」「在留期間等の満了の日」「在留カード等の番号」
が記載されたもの）
 - ② パスポート（顔写真ページ）のコピーおよび在留カード（表裏）のコピー
 - カラー写真1枚（縦4cm×横3cm：学生証作成用）

入学辞退願提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年3月31日(水)17時(窓口閉室時間)までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還します。

(1) 「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部教務課 法学研究科担当

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話 03-3409-9525(学務部教務課 法学研究科担当直通)

(2) 「入学辞退願」等の提出について

提出締切日時：2027年3月31日(水) 17時(窓口閉室時間)

郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印有効

提出書類 : ①「入学辞退願」(本学所定用紙) ②「振込金受取書」

博士前期課程 研究指導教員一覧 (2027 年度予定)

本研究科を志望する方は、下記一覧から、研究指導教員を事前を選択する必要があります。

私法専攻

職名	氏名	専門分野
教授	伊藤 敬也	国際私法・国際民事訴訟法
教授	大島 梨沙	民法
教授	大山 和寿	民法
教授	◆ 岡田 直己	経済法
教授	熊谷 士郎	民法
教授	浜辺 陽一郎	会社法・国際取引法
教授	平嶋 竜太	知的財産法
教授	細川 良	労働法
教授	◆ 松本 英実	西洋法史
教授	薮口 康夫	民事手続法
教授	山下 典孝	保険法
准教授	◆ 酒巻 修也	民法
准教授	竹村 壮太郎	民法
准教授	増田 友樹	会社法
准教授	◆ 楊 林凱	商法・会社法・信託法

公法専攻

職名	氏名	専門分野
教授	安藤 泰子	刑法・国際刑事法
教授	◆ 大石 泰彦	言論法
教授	大沢 光	行政法
教授	岡上 雅美	刑法
教授	木山 泰嗣	税法
教授	申 恵丰	国際法・国際人権法
教授	住吉 雅美	法哲学
教授	基 豊	社会保障法
教授	高佐 智美	憲法
教授	松田 憲忠	政治学
教授	森 裕亮	行政学
教授	山元 一	憲法理論・比較憲法・グローバル法
准教授	天田 悠	刑法
准教授	大道寺 隆也	国際関係論
准教授	道下 知子	税法・税務会計
准教授	府川 繭子	行政法
准教授	森本 麻衣子	法の人類学
准教授	山辺 春彦	日本政治思想史
准教授	COOP, Stephanie L.	国際刑事法・国際人権法

◆印がついている教員は募集しません。

・上記記載の教員でも、状況によって指導できない年度がある場合があります。

なお、2026 年 7 月現在の 2027 年度予定であり、今後変更の可能性があります。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1
お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大・専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2
お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、**チケットとレシートの2種類**をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

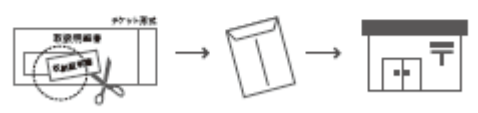


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	805円
	入学検定料が5万円以上	825円

3
出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある紙は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店舗ではお答えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。VISA JCB 楽天カード 三井住友カード 住友カード 三菱UFJニコス

インターネット申込・クレジットカード決済



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

- | | |
|-----------------|---|
| 1. トップページ | 「申し込む」ボタンをクリック |
| 2. 研究科選択 | 研究科を選択してください。 |
| 3. 入試選択 | 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック |
| 4. 留意事項 | 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック |
| 6. 申込内容確認 | 申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック |
| 7. 受付番号確認 | 受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。) |
| 8. クレジットカード情報入力 | 支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック
*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。 |
| 9. 決済完了 | 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。
*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。 |

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

学 費 等

2027 年度入学者学費等一覧（大学ウェブサイト）

以下大学ウェブサイト内、「大学院、専門職大学院入学者学費」を参照してください。

大学ウェブサイト：https://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/battel_postgraduate/



私法専攻・公法専攻 博士前期課程

	金 額	備 考
入学時納入金合計	615,000 円	(後期分学費等含まず)
初年度納入金合計	940,000 円	後期分学費等 325,000 円を含む

(消費税は課税されません)

校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還を受けることができます。

備 考

1. 入学手続時には入学時納入金合計の金額を納入してください。なお、入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます（通常は入学後に納付）。
2. 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも新学費等を適用することがあります。
3. 本学の学部および大学院博士前期（修士・専門職学位）課程出身者は次のとおりとします。
 - ① 入学金
本学卒業・修了（見込）者は免除
 - ② 校友会費
本学出身者は納入不要（学部卒業者および大学院修了者）
4. 授業料後払い制度について
国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下 URL または QR コードより、申請要項を確認の上、**出願期間中に**必要な手続きを行ってください。
※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

【申請要項 URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

【申請要項QRコード】



一般的注意事項

1. 二重学籍等

本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。

また、他大学大学院を修了または修了見込みの者は、成績証明書および修了証明書または修了見込証明書を提出してください。

卒業（修了）見込みで出願していた者で、2026年3月末日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。

- 出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。
- 本大学院の授業は、青山キャンパスで実施します。
- 身体の機能に障がいがあり、受験および就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立って学務部教務課 法学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
- 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は、入学手続要項を確認のうえ、申し出てください（ただし、入学年度の4月初頭に限ります）。
- 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課 法学研究科担当[直通電話 03（3409）9525]にしてください。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
- 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[直通電話 03（3409）9634]に問い合わせてください。
- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- 入学試験に関するお知らせは、以下の本学ウェブサイトにてお知らせします。

<http://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate>

授業時間（講義科目配置時間帯）について（2026年度参考）

私法専攻・公法専攻 博士前期課程の授業は、下記時間帯の範囲に配置されます。

月曜日～土曜日

時限	第1時限	礼拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
時間	9：00 ～ 10：30	10：30 ～ 11：00	11：00 ～ 12：30	12：30 ～ 13：20	13：20 ～ 14：50	15：05 ～ 16：35	16：50 ～ 18：20	18：30 ～ 20：00	20：10 ～ 21：40

地の塩、世の光
The Salt of the Earth、 The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
法学研究科
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03（3409）9525（学務部教務課 法学研究科直通）

フリガナ						性別		写真貼付 1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3ヶ月以内撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真	
氏 名									
生年月日(西暦) 年 月 日 (歳)									
現住所 〒 - _____									
電話番号 ()				携帯電話番号 ()					
メールアドレス				@					
勤務先名 (部署・役職名も記入) (記入すべき事項のない者は不要)									
勤務先住所 〒 - _____ _____									
電話番号 ()									
通学交通機関									
線 駅 ～ 渋谷駅・表参道駅 所要時間 約 分									
学歴(高等学校以降のすべての学歴を記入)									
高等学校 ^(西暦) 年 月 卒業									
大学 学部 学科 年 月 入学									
大学 学部 学科 年 月 卒業 ・ 卒業見込									
本学出身者は必ず下欄を記入									
学生番号							演習担当者又は 研究指導教員		

[illegible]

2027年度 青山学院大学大学院 写真票

写真貼付

1. 4×3cm枠なし
2. 上半身正面脱帽
3. 最近3ヶ月以内撮影のもの
4. 全面糊付け
5. 裏面に氏名記入
6. カラー写真

※いずれかに○

研究科	法学研究科	
専攻※	私法専攻・公法専攻	
課程※	博士前期・博士後期	
入試種別※	一般・社会人・外国人留学生 特別・一般(博士後期)	
選択受験科目 (一般入試のみ)		

受験番号
*

*記入不要

氏名

--	--	--	--	--	--	--

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
法学研究科	私法専攻・公法専攻

--	--	--	--	--	--	--

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
法学研究科	私法専攻・公法専攻

宛名ラベル用紙(1)

宛名ラベル用紙(2)

--	--	--	--	--	--	--

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
法学研究科	私法専攻・公法専攻

--	--	--	--	--	--	--

(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
法学研究科	私法専攻・公法専攻

宛名ラベル用紙(3)

宛名ラベル用紙(4)

- 1) 写真票には写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付のうえ、宛名ラベル用紙と切り離して提出してください。
- 2) 宛名記入ラベル用紙(1)～(4)は受験票、合格者受験番号一覧および入学手続書類送付等に使用します。送付先住所を記入のうえ、4枚を切り離して提出してください。

貼付用紙

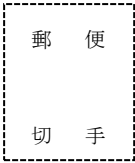
【入学検定料】

研 究 科	法学					専 攻 ○で囲む	私法・公法	
受験番号 (記入不要)						課 程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期	
フリガナ							連絡先	()
氏 名								

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

はがれないように**全面**のり付け
してください。

- ・コンビニ
- ・クレジット



150-8366

東京都渋谷区渋谷 4 - 4 - 2 5

青山学院大学 学務部教務課
入試願書受付係 御中

(大学院入学試験・出願書類在中)

出願期間中の消印有効

簡易書留
速 達

(二つ折厳禁)

フリガナ			
氏 名			
住 所	□□□-□□□□ TEL. ()		
研究科・専攻	法学研究科 専攻		
課 程	博士前期課程 ・ 博士後期課程		
入試種別	一般 ・ 社会人 ・ 外国人留学生 ・ 特別		

※ 出願する専攻を記入してください

※ 課程・入試種別：該当するものを○で囲んでください

2027年度 青山学院大学大学院 法学研究科 個別入学資格審査申し込み票

氏名		※いずれかに○	
		研究科	法学研究科
		専攻※	私法専攻・公法専攻
西暦 年 月 日生		課程※	博士前期・博士後期
連絡先		入試種別※	一般 ・ 社会人 ・ 外国人留学生 特別 ・ 一般(博士後期)
携帯電話番号 ()			
メールアドレス @			
		選択予定受験科目 (一般入試のみ)	

青山学院大学 法学研究科長 殿

私は、貴大学院 法学研究科において個別の入学資格審査を希望しております。

ついては、個別入学資格審査書類を下記住所宛に送付してください。

申し込み月日 2026年 ____月 ____日

○返送先確認も兼ね、下記宛名記入ラベル用紙をご記入ください。

□□□□□□□□ (住所) _____ _____ (氏名) _____様	□□□□□□□□ (住所) _____ _____ (氏名) _____様
宛名ラベル用紙(審査書類送付用)	宛名ラベル用紙(審査結果通知用)

受験番号	記入不要
------	------

2027年度大学院入試「在留カード」コピー貼付用紙

研究科	専攻	カナ氏名	
		英字氏名	

【該当する場合は、いずれかの□にチェックしてください】

☐在留資格変更申請中 ☐在留期間更新申請中 ☐在留資格なし

■在留資格についての同意事項

(下記内容に同意する場合は下の署名欄に署名してください。※出願には同意することが必須となります。)

今回の出願に関し、在留資格および在留資格の変更に伴い発生する一切の不利益は出願者本人が負うこととします。

上記に同意します(本人署名：)

(出願者自筆で記入、パスポートと同じ署名で記入のこと。)

- *在留資格・在留期間・在留カード番号がはっきりとわかるようコピーしてください。
- *カード右上の在留カード番号が途中で切れていないか必ず確認のうえ、貼付してください。
- *住居地および資格外活動許可の有無等がはっきりとわかるようコピーしてください。

(裏面に何も記載がない場合でも、コピーは必要となります)

在留カード(表)のコピー貼付

在留カード(裏)のコピー貼付

不正行為について

○出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

○試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む）。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- ・ カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- ・ 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- ・ 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- ・ 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・ 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けたり、解答を続けていたりすること。
- ・ 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- ・ 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- ・ 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- ・ 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- ・ 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- ・ 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- ・ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。